

傍聴人用



令和6年2月5日

令和6年第2回
稲沢市教育委員会定例会提出議案

稲沢市教育委員会事務局

第2回教育委員会定例会付議事項

番 号	案 件	担当課	頁
議案第2号	令和6年度学校教育目標について	学校教育課	2
議案第3号	令和6年度教職員研修計画について	学校教育課	5
議案第4号	稲沢市立小中学校の休業日について	学校教育課	7
議案第5号	令和6年度稲沢市一般会計予算案（教育委員会所管に関する当初予算）について	庶務課	9
議案第6号	令和5年度稲沢市一般会計補正予算案（教育委員会所管に関する補正予算）について	庶務課	16

議案第2号

令和6年度学校教育目標について

別紙のとおり令和6年度学校教育目標を定めるものとする。

令和6年2月5日提出

稲沢市教育委員会

教育長 広沢 憲治

説明

この案を提出するのは、稲沢市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項第1号の規定により、学校教育に関する基本方針を定める必要があるため。

学校教育の理念

稲沢市教育委員会

学校教育は、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、国家及び社会の有為な形成者としての資質を育てることを目的として行うものである。

各学校においては、知・徳・体の調和のとれた人間形成と個性の伸長を図るとともに、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神を尊び、主体的・創造的で活力に満ちた社会の発展に尽くす態度を養うことが大切である。

教職員には、教育者としての使命感、高い倫理観や協調性、人間の成長・発達についての深い理解、児童生徒に対する教育的愛情、健康や安全に関する管理能力、広く豊かな教養と教科等に関する専門的な知識、そしてこれらを基盤とした実践的指導力が求められる。また、教職員は、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ学び続けることが必要である。児童生徒や保護者の多様な価値観に適切に対応するとともに、広く社会と関わり、幅広い人間関係を築くことによって、自己の人間性や社会性を豊かにするなど、総合的な人間力を高めるよう努めることが求められている。教育者としての使命と責任を自覚し、学校教育の目的と学習指導要領等の趣旨を十分理解し、校長の指導のもとに一致協力して公教育の推進に努力されるよう期待する。

【基本方針】

- 1 自ら学び、広い視野をもって深く考え、自らの可能性を伸ばす力を養う。
- 2 礼節をもって自らを律し、多様性を尊重する豊かな人間性を養う。
- 3 心や体を鍛え、社会をたくましく生き抜く力を養う。
- 4 稲沢の魅力を学び、稲沢を愛する心を育むとともに、グローバル社会において生き生きと活躍できる人材の育成に努める。
- 5 子どもたちが学ぶ喜びを感じる魅力的な教育環境づくりに努める。

指導の重点

- 1 自ら学び、広い視野をもって深く考え、自らの可能性を伸ばす力を育む
 - (1) 一人一人の個性や生活環境の違いなどに応じたきめ細かな教育に努める。
 - (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、主体的、協働的に学び、深く考えることを通して、様々な課題を解決し、自分らしく生きていく力を育む。
 - (3) 児童生徒の発達段階や興味・関心等を踏まえて、タブレットPC等のICT機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努める。
 - (4) 総合的な学習の時間などを通してSDGsの理念や意義を学ぶとともに、各教科や活動にSDGsを関連付けた学習を推進する。
 - (5) 特別支援教育の充実に努め、障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する。

- 2 礼節をもって自らを律し、多様性を尊重する豊かな人間性を育む
 - (1) 命を大切にする心や他人を思いやる心、人権を尊重する心を育てる。
 - (2) 社会の担い手として多様な人々と手を携えて生きていける、豊かな人間性と確かな実践力を育む。
 - (3) 善悪についての判断力や望ましい社会性、正義感や公正さを重んじる心等の育成に努めるとともに、自己の生き方について考えを深める態度を育む。
 - (4) 互いのよさを認め合い、共感的に学び合う集団づくりに努める。

- 3 心や体を鍛え、社会をたくましく生き抜く力を育む
 - (1) 児童生徒の体力向上に向けて、学校体育の充実に努め、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、体力を高められるような児童生徒の育成に努める。
 - (2) 健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって豊かに生きる意欲にあふれ、安全で健康な生活を営んでいくためのたくましさを培う。

- 4 稲沢の魅力を知り、稲沢を愛する心を育むとともに、グローバル社会において生き生きと活躍できる人材を育成する
 - (1) ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育む。
 - (2) 一人一人の能力・適性に合ったキャリア教育を充実させ、社会の激しい変化の中でも自分をしっかりと持ち、稲沢を担っていく進取の精神を育む。
 - (3) グローバル社会において、多様な人々と生活し協働する中で、物事を多面的に捉える見方や考え方を身に付け、稲沢、日本、そして世界を担っていく気概や意欲を育む。

- 5 子どもたちが学ぶ喜びを感じる魅力的な環境づくりを進める
 - (1) 児童生徒や学校、地域の実態を把握し、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを推進する。
 - (2) 学校と地域が教育目標やビジョンを共有する「社会に開かれた教育課程」を実現し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを推進する。
 - (3) 多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えた教育環境の充実に努める。
 - (4) 児童生徒とのつながりを大切にした教育活動を進め、児童生徒の健やかな学びを保障するよう努める。

議案第3号

令和6年度教職員研修計画について

別紙のとおり令和6年度教職員研修計画を定めるものとする。

令和6年2月5日提出

稲沢市教育委員会

教育長 広沢 憲治

説明

この案を提出するのは、稲沢市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項第15号の規定により、教職員の研修の基本方針を定める必要があるため。

令和6年度 教職員研修計画(案)

稲沢市教育委員会

	研修事業名	ね ら い	研修回数等
1	稲沢市教育研究会	教職員の教科等の指導に関する力量向上	研究集会 部長副部長会(年2回)、 研究推進委員会(月2回程度)
2	学習指導・評価研究委員会	学習指導と評価に関する研究	学習指導の進め方と評価のあり方の検討
3	特色ある学校づくり推進委員会	特色ある学校づくりの推進	発表会、事例集作成
4	小中学校生徒指導連絡会	生徒指導の充実	小中学校生徒指導連絡会(年3回程度) 中学校生徒指導連絡会(学期2回程度) 中高生徒指導連絡協議会(年2回)
5	いじめ・不登校対策委員会	児童生徒の心の教育の充実	年4回程度、冊子作成
6	進路指導委員会	進路指導の充実	年10回程度
7	特別支援教育推進委員会	特別支援教育の推進、就学指導	年4回程度、年3回の研修会
8	情報教育推進委員会	情報教育の推進、適正な情報管理	年3回程度
9	日本語教育推進委員会	外国人児童生徒に対する日本語教育の充実	年3回程度、年2回の研修会
10	キャリア教育推進委員会	キャリア教育の推進、職場体験学習の充実	年1回、実施報告書作成
11	校長研修会	学校経営、管理職研修	年1回の研修会及び毎月の校長会議で研修
12	教頭研修会	学校教育の企画・運営、管理職研修	年1回の研修会及び年9回の教頭会議で研修
13	教務主任研修会	教務企画に関する研修	年1回の研修会及び年9回の教務主任会議で研修
14	校務主任研修会	校務企画に関する研修	年1回の研修会及び年6回の校務主任会議で研修
15	養護教諭研修会	保健指導に関する研修	年3回の研修会及び年7回の養護教諭会議で研修
16	学校事務職員研修会	学校事務に関する研修	年1回の研修会及び毎月の事務職員会議で研修
17	栄養教諭研修会	食育及び学校給食の充実	年1回の研修会及び毎月の栄養教諭会議で研修
18	保健主事研修会	安全指導・保健指導の充実	年1回
19	体育実技研修会	体育主任等としての資質向上	年2回
20	生徒指導担当者研修会	生徒指導担当者としての資質向上	年1回
21	道徳教育推進教師研修会	道徳教育推進教師としての資質向上	年1回
22	年代別教職員研修	各年代に応じた教職員の資質向上	各年代2人程度
23	初任者研修	教員の資質向上、使命感の養成	校内研修年間150時間、校外研修17日
24	少経験者(2・3年目)研修	教員の資質向上、授業力の向上	校内授業研究2回、校外研修3回
25	中堅教諭等資質向上研修【前期】	教員の資質向上、専門性の向上	OJTによる校内研修、校外研修3日
26	中堅教諭等資質向上研修【後期】	教員の資質向上、得意分野の伸長	OJTによる校内研修、校外研修4日

議案第4号

稲沢市立小中学校の休業日について

別紙のとおり稲沢市立小中学校の休業日を定めるものとする。

令和6年2月5日提出

稲沢市教育委員会

教育長 広沢 憲治

説明

この案を提出するのは、稲沢市立学校管理規則第6条第2項第7号の規定により、休業日を定める必要があるため。

稲沢市立小中学校の休業日

1 休業日

令和6年11月22日（金）

2 休業内容

(1) 稲沢市立小中学校 32校

(2) 児童・生徒が家族などと一緒に、地域の自然、歴史、風土、文化、産業等についての理解と関心を深める体験的な活動に参加できる機会を設けることを通じて、愛知への愛着と、県民としての誇りをもつことができるよう環境を醸成するための機会とする。

議案第5号・第6号については非公開として提案させていただきます。